

1. 研究業績

a. 論文

a-1. 査読付き学術論文 (国際学会の査読付き Proceedings も含む)

a-1-1. 英文のもの

- Soma, Y., Tsunoda, K., Kitano, N., Jindo, T., Tsuji, T., Saghadzadeh, M., *Okura, T.: Relationship between built environment attributes and physical function in Japanese community-dwelling older adults. *Geriatrics & Gerontology International*, 17: 382-390, 2016-1.
- Tsuji, T., Yoon, J., Kitano, N., Okura, T., Tanaka, K.: Effects of N-acetyl glucosamine and chondroitin sulfate supplementation on knee pain and self-reported knee function in middle-aged and older Japanese adults: a randomized, double-blinded, placebo-controlled trial. *Aging Clinical and Experimental Research*, 28-2: 197-205, 2016-1.
- Tsuji, T., Yoon, J., Tsunoda, K., Kanamori, A., *Okura, T.: Ground reaction force in sit-to-stand movement reflects lower limb function in middle-aged and older women with knee pain. *Human Performance Measurement*, 13: 11-19, 2016-2.
- Jindo, T., Kitano, N., Tsunoda, K., Kusuda, M., Hotta, K., *Okura, T.: Daily life physical activity modulates the effects of an exercise program on lower-extremity physical function in Japanese older adults. *Journal of Geriatric Physical Therapy*, 39-2: 83-88, 2016-4.
- Koda, M., Kitamura, I., Okura, T., Otsuka, R., Ando, F., Shimokata, H.: The associations between smoking habits and serum triglyceride or hemoglobin A1c levels differ according to visceral fat accumulation. *J Epidemiology*, 26-4: 208-215, 2016-4.
- Abe, T., Tsuji, T., Soma, Y., Shen, S., *Okura, T.: Composite variable of lower extremity muscle strength and balance ability for evaluating risks of mobility limitation and falls in community-dwelling older adults. *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*, 5-3: 257-266, 2016-6.
- Jindo, T., Fujii, K., Tsunoda, K., Fujii, Y., Sriramatr, S., *Okura, T.: Effect of increased daily physical activity on lower-extremity physical function during an exercise program for older adults. *Journal of Physical Education and Sport*, 16-3: 816-822, 2016-9.
- *Okura, T., Tsuji, T., Tsunoda, K., Kitano, N., Yoon, J.Y., Saghadzadeh, M., Soma, Y., Yoon, J., Kim, M., Jindo, T., Shen, S., Abe, T., Sato, T., Kunika, K., Fujii, K., Sugahara, H., Yano, M., Mitsuishi, Y.: Study protocol and overview of the Kasama Study: Creating a comprehensive, community-based system for preventive nursing care and supporting successful aging. *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*, 6-1: 49-57, 2016-11.

a-1-2. 和文のもの

- 神藤隆志, 辻本健彦, 大藏倫博, 田中喜代次: テニスを習慣化する中高年女性の活力年齢. *体育の科学*, 66-2: 149-154, 2016年2月.
- 神藤隆志, 藤井啓介, 北濃成樹, 角田憲治, *大藏倫博: 地域在住高齢者の運動教室におけるスクエアステップの達成度が体力変化に与える影響. *厚生指標*, 63-2: 33-39, 2016年2月.
- 阿部巧, 北濃成樹, 辻大士, 相馬優樹, 金美珍, 尹之恩, *大藏倫博: ロコチェックと身体パフォーマンスとの関連. *体育測定評価研究*, 16: 27-34, 2016年3月.
- 金美珍, 相馬優樹, 辻大士, 阿部巧, 佐藤文音, 藤井啓介, 國香想子, *大藏倫博: 高齢者における筋量・筋力と起居移動動作能力および転倒との関連性—SarcopeniaとDynapeniaに着目した検討—. *体力科学*, 65-5: 491-501, 2016年8月.
- 相馬優樹, 阿部巧, 尹之恩, *大藏倫博: 立位姿勢保持課題時の足圧中心動揺パラメータを用いた中高齢者の認知機能の評価に関する検討. *日本認知症予防学会誌*, 5-1: 25-33, 2016年8月.
- 重松良祐, 鎌田真光, 岡田真平, 佐藤文音, 大藏倫博, 中垣内真樹, 北湯口純, 鈴木玲子: 身体活動を促進するポピュレーションアプローチの評価方法: 改変型RE-AIMモデル: PAIREM. *運動疫学研究*, 18-2: 76-87, 2016年9月.
- 佐藤文音, 神藤隆志, 藤井啓介, 辻大士, 北濃成樹, 堀田和司, *大藏倫博: 高齢ボランティアが運営する運動サークルへの参加が地域在住女性高齢者の身体機能に与える影響—自治体主催の専門家による運動教室修了後の検討—. *日本プライマリ・ケア連合学会誌*, 40-1: 9-15, 2016年9月.
- 藤井啓介, 北濃成樹, 神藤隆志, 佐藤文音, 國香想子, 藤井悠也, *大藏倫博: 独居高齢者における地域活動への参加と抑うつとの関連性. *理学療法科学*, 32-1: 105-110, 2016年10月.

a-2. その他の論文 (査読無し論文など上記 [a-1] に含まれない論文等)

- 大藏倫博: 脳とからだ元気になる! ロコモティブシンドローム対策の最前線 ~運動とアミノ酸摂取がもたらす影響について~. *アミノ酸研究*, 10-1: 23-27, 2017年3月.

b. 著書

b-1. 著書 (翻訳, 監修, 編集を含む)

b-2. 和文のもの

- 大藏倫博, 角田憲治. 高齢者のヘルスプロモーションと運動・スポーツ. (編) 柳沢和雄, 清水紀宏, 中西純司. よくわかるスポーツマネジメント. ミネルバ書房, 134-135, 2017年3月31日.

- ・岡田真平、大藏倫博. 健康増進施設のマネジメント. (編) 柳沢和雄、清水紀宏、中西純司. よくわかるスポーツマネジメント. ミネルバ書房, 140-141, 2017年3月31日.
- ・大藏倫博、辻大士. 高齢者の健康政策. (編) 柳沢和雄、清水紀宏、中西純司. よくわかるスポーツマネジメント. ミネルバ書房, 142-143, 2017年3月31日.
 - ・大藏倫博: スクエアステップエクササイズ. 身体活動・座位行動の科学～疫学・分子生物学から探る健康～, (編集) 熊谷秋三, 田中茂穂, 藤井宣晴, 杏林書院, 217-225, 2016年10月.

c. その他

c-1. 研究発表 (開催地も記入して下さい)

- c-1-1. 国際学会 (要件: 50人以上参加, 3カ国以上参加, 1日以上開催のすべてを満たすか, 国際団体連合 UIA または国際会議協会 ICCA 加盟団体の会議)
 - c-1-1-2. 特別・招待講演
 - ・Okura, T.: The current situation of aging Japanese population with a focus on physical activity and physical function. 28th International sport science congress -In commemoration of the 1988 Seoul Olympic games-, Seoul, 2016-8.
 - ・Tsunoda, K., Tsuji, T., Yoon, J., Okura, T.: The importance of physical activity in promoting health and way to encourage physical activity in older population. 28th International sport science congress -In commemoration of the 1988 Seoul Olympic games-, Seoul, 2016-8.
 - ・Tsuji, T., Kondo, K., Tsunoda, K., Yoon, J., Okura, T.: Evaluation of physical function in older adults at individual and community levels. 28th International sport science congress -In commemoration of the 1988 Seoul Olympic games-, Seoul, 2016-8.
 - c-1-1-3. 一般口述発表 (口頭発表)
 - ・Yoon, J., Okura, T., Tsuji, T., Tsunoda, K.: Whole-body vibration training with maslinic acid on knee function and muscle strength in older adults with knee pain: A randomized double-blind placebo controlled trial. 28th International sport science congress -In commemoration of the 1988 Seoul Olympic games-, Seoul, 2016-8.
 - c-1-1-4. ポスター発表
 - ・Fujii, Y., Fujii, K., Yoon, JY., Sugahara, H., Kitano, N., Okura, T.: The effects of low-intensity exercise on depressive symptoms in socially-isolated older adults. American College of Sports Medicine's 63rd Annual Meeting, Boston, 2016-5.
 - ・Abe, T., Tsuji, T., Okura, T.: Association between muscular function, muscular endurance and cognitive function in community-dwelling older adults. American College of Sports Medicine's 63rd Annual Meeting, Boston, 2016-5.
 - ・Jindo, T., Fujii, K., Tsunoda, K., Fujii, Y., Sakaida, K., Sriramatr, S., Okura, T.: Effect of increased daily physical activity on lower-extremity physical function in older adults. American College of Sports Medicine's 63rd Annual Meeting, Boston, 2016-5.
 - ・Abe, T., Soma, Y., Kunika, S., Okura, T.: The relationship between changes in physical and cognitive functions during exercise training in community-dwelling older adults. 6th International Congress on Physical Activity and Public Health, Bangkok, 2016-11.
 - ・Seol, JH., Fuji, Y., Kitano, N., Osuka, Y., Tanaka, K., Okura, T.: Association between the quality of sleep and the timing of habitual physical activity in older adults. 7th The Asia Conference on Kinesiology 2016, Incheon, 2016-11.
- c-1-2. 国内学会・研究会 (上記「国際学会」の要件に当てはまらない学会を含む)
 - c-1-2-2. 特別・招待講演
 - ・大藏倫博: 脳とからだが元気になる! ロコモティブシンドローム対策の最前線 ～運動とアミノ酸摂取がもたらす影響について～. 日本アミノ酸学会 10周年記念大会, 東京, 2016年9月.
 - c-1-2-3. 一般口述発表 (口頭発表)
 - ・辻大士, 阿部巧, 長嶺由衣子, 亀田義人, 大藏倫博, 近藤克則: 高齢者のメタボリックシンドロームは要支援・要介護認定を予測するか? 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.
 - ・薛載勲, 阿部巧, 大須賀洋祐, 北濃成樹, 前田清司, 田中喜代次, 大藏倫博: 地域在住高齢者における身体活動量の日間変動と末梢動脈疾患との関連. 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.
 - ・相馬優樹, 大藏倫博: 身体機能低下予防を目的としたセーフティマップの作成に関する検討. 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.
 - ・神藤隆志, 角田憲治, 藤井啓介, 國香想子, 藤井悠也, 北濃成樹, 大藏倫博: 地域在住高齢者における運動仲間の存在と抑うつとの関連性. 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.
 - ・金美珍, 相馬優樹, 辻大士, 阿部巧, 佐藤文音, 國香想子, 大藏倫博: 高齢者における筋量・筋力と起居移動動作能力および転倒との関連性—低筋量と低筋力の視点からの検討—. 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.
 - ・國香想子, 神藤隆志, 北濃成樹, 阿部巧, 大藏倫博: 男性限定の介護予防運動教室および運動サークルの設立経緯—茨城県笠間市「からだづくり男塾」の事例—. 第17回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016年2月.

- ・阿部巧, 大藏倫博: 地域在住高齢者の椅子立ち上がり動作時の地面反力における“意味のある変化”. 日本体育学会第 67 回大会, 大阪, 2016 年 8 月.
- ・金美珍, 神藤隆志, 阿部巧, 辻大士, 大藏倫博: 高齢者における筋量と筋力が身体機能の変化に及ぼす影響. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・薛載勳, 藤井悠也, 北濃成樹, 大須賀洋祐, 田中喜代次, 大藏倫博: 身体活動の実践時間帯が高齢者の睡眠に及ぼす影響. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・阿部巧, 藤井啓介, 國香想子, 兵頭和樹, 大藏倫博: 座位運動が高齢者の認知機能に与える一過性の効果: 座位歩行, 座位体操, 手指を使った運動の比較. 第 6 回日本認知症予防学会学術集会, 宮城, 2016 年 9 月.
- ・藤井啓介, 佐藤文音, 藤井悠也, 堀田和司, 大藏倫博: 独居高齢者における地域活動への参加の有無と抑うつとの関連性. 第 50 回日本作業療法学会, 札幌, 2016 年 9 月.
- ・本嶋秀子, 尹之恩, 大藏倫博, 磯田博子: 変形性膝関節症及び膝痛を有する女性に対する全身振動運動とオリーブ果実エキス摂取による改善・緩和効果の検討. 第 89 回日本生化学大会, 仙台, 2016 年 9 月.
- ・阿部巧, 薛載勳, 城實佳也, 大藏倫博: 下肢の筋持久力は認知機能と関連するか? 第 16 回日本体育測定評価学会, 大分, 2017 年 3 月.
- ・尹之恩, 尹智暎, 本嶋秀子, 神津博幸, 磯田博子, 大藏倫博: 脳活性化運動プログラムと抗酸化物質の摂取が高齢者の認知機能及び心身機能に与える影響. 第 18 回日本健康支援学会年次学術大会, 東京, 2017 年 3 月.
- ・城實佳也, 薛載勳, 藤井悠也, 藤井啓介, 阿部巧, 大藏倫博: 地域在住高齢者におけるストレッチングの実践習慣と認知機能との関連性. 第 18 回日本健康支援学会年次学術大会, 東京, 2017 年 3 月.

c-1-2-4. ポスター発表

- ・阿部巧, 大藏倫博: 地域在住高齢者を対象とした片手および両手での巧緻性動作と認知機能との関連. 第 15 回大会日本体育測定評価学会, 東京, 2016 年 2 月.
- ・城實佳也, 周園, 藤井啓介, 阿部巧, 大藏倫博: ストレッチング習慣のある地域高齢者の健康関連指標の特性に関する検討～身体・認知機能、抑うつ度、睡眠、身体活動量に着目して～. 第 17 回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016 年 2 月.
- ・周園, 藤井啓介, 城實佳也, 相馬優樹, 角田憲治, 大藏倫博: 地域在住高齢者の身体活動量と自律神経活性状態との関連. 第 17 回日本健康支援学会年次学術集会, 愛知, 2016 年 2 月.
- ・大藏倫博, 周園, 藤井啓介, 城實佳也: 体力向上と脳賦活を企図した介護予防運動“スクエアステップ”の効果: 体力に関する検討. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・佐藤文音, 北濃成樹, 國香想子, 藤井啓介, 大藏倫博: 長期的なステップエクササイズの実践が女性高齢者の身体機能に与える影響. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・城實佳也, 藤井啓介, 薛載勳, 阿部巧, 大藏倫博: ストレッチング習慣および柔軟性能力は高齢者の下肢機能と関連するか? 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・慎少帥, 深山知子, 馬せい宇, 辻大士, 阿部巧, 大藏倫博: 自己の体力に合わせて実践するホームエクササイズが高齢者の下肢機能へ与える効果. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・神藤隆志, 阿部巧, 佐藤文音, 楠田美嬉子, 大藏倫博: 介護予防運動“スクエアステップ”の主観的運動強度とその関連要因. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・周園, 藤井啓介, 城實佳也, 大藏倫博: 体力向上と脳賦活を企図した介護予防運動“スクエアステップ”の効果: 認知機能に関する検討. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・藤井悠也, 宮部研人, 北濃成樹, 薛載勳, 藤井啓介, 大藏倫博: 高齢者における睡眠時間と抑うつとの関連—個人が理想とする睡眠時間に着目した検討—. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・藤井啓介, 磯野香代子, 周園, 城實佳也, 大藏倫博: 短時間のピラティス実践が成人女性の気分に与える一過性効果. 第 71 回日本体力医学会大会, 盛岡, 2016 年 9 月.
- ・佐藤文音, 藤井啓介, 大藏倫博: 運動ボランティア・スキルチェック表の作成—活動年数とスキルとの関連性—. 第 75 回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016 年 10 月.
- ・藤井啓介, 神藤隆志, 大藏倫博, 大塚礼, 安藤富士子, 下方浩史: 非肥満者の代謝異常の改善と関連する身体活動の検討. 第 75 回日本公衆衛生学会総会, 大阪, 2016 年 10 月.
- ・角田憲治, 阿部巧, 城實佳也, 神藤隆志, 薛載勳, 大藏倫博: 高齢者におけるストレッチングと血管弾性指標との関連. 第 78 回日本体力医学会中国・四国地方大会, 山口, 2016 年 11 月.

c-4. 研究成果による受賞

- ・第 15 回日本体育測定評価学会 学会賞 (受賞論文: 高齢者の認知機能を評価する新パフォーマンステスト“トレイルメイキ

ングペグテスト”の提案. 東京, 2016年2月.)

- ・第17回日本健康支援学会 優秀論文賞 (受賞論文: 効果検証された運動プログラムを地域に普及させるボランティア活動の評価. 名古屋, 2016年2月.)
 - ・第16回日本体育測定評価学会 奨励賞 (受賞論文: 地域在住高齢者における Sarcopenia, Dynapenia と身体機能との関連性. 大分, 2017年3月.)
 - ・第16回日本体育測定評価学会 優秀発表 (受賞発表: 下肢の筋持久力は認知機能と関連するか? 大分, 2017年3月.)
- c-5. 公的機関あるいは企業等との共同研究, 委託研究, これらからの研究助成, 奨励金等 (科研費を除く)
- ・「文部科学省 COI STREAM—食と健康の達人拠点—」(文部科学省)
 - ・「厚生労働科学研究費補助金—非肥満者に対する保健指導方法の開発に関する研究—」(厚生労働省)
 - ・「筑波大学産学連携推進プロジェクト共同研究—世界初の卓越した健康度評価・改善システムを内蔵する体重計開発—」(筑波大学)

4. 社会貢献活動

a. 社会貢献活動による受賞

b. 公共機関あるいは私企業等の委員, 役員 (平成28年度だけでなく, それ以前からの継続中のものも含む)

- ・ International Journal of Sport and Health Science 編集委員 (2015年～)
- ・ Journal of Physical Fitness and Sport Medicine 編集委員 (2016年～)
- ・ スポーツ庁「運動・スポーツガイドライン」作業部会委員 (2016年～)
- ・ 茨城県笠間市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員長 (2016年～)
- ・ 茨城県かすみがうら市健康増進計画策定委員会副委員長 (2016年～)
- ・ 日本体育測定評価学会理事 (2009年～)
- ・ 日本健康支援学会理事 (2013年～)
- ・ 特定非営利活動法人スクエアステップ協会理事長 (2007年～)

c. ボランティア活動

c-1. 日常的, 定期的な地域のスポーツクラブ等でのコーチや指導

- ・スクエアステップ運動リーダー養成講習会: 茨城県・笠間市 (2回): 5月から6月および8月から9月 (それぞれ毎週1回: 全5回)
- ・元気いきいき教室: 茨城県・笠間市 (3回): 10月から12月 (2回) および1月から3月 (1回) (それぞれ毎週1回: 全11回)
- ・認知機能低下の可能性のある高齢者を対象としたMCI教室: 茨城県・笠間市: 1月から3月 (毎週1回: 全11回)
- ・男性のからだづくり運動教室: 茨城県・笠間市: 5月から7月 (毎週1回: 全11回)